

函館市西部地区再整備事業「共創のまちぐらし推進プロジェクト」 企画会議を開催しました

令和3年7月10日（土）に旧北海道庁函館支庁庁舎において、函館市西部地区再整備事業基本方針に掲げる重点プロジェクトの一つである「共創のまちぐらし推進プロジェクト」の推進について、本格的な取り組みを開始するにあたり、当該プロジェクトの目的や今後の方向性などをはじめ、これからの西部地区ならではのまち暮らしの姿を西部地区に関わる皆様に検討してもらう場として、「共創のまちぐらし推進プロジェクト」企画会議を開催しました。

■函館市西部地区再整備事業の概要について

・函館市西部まちぐらしデザイン室 次長 溝江隆紀



溝江次長から、概要版「函館市西部地区再整備事業基本方針」（別添資料）に基づき、事業の方向性・将来像はじめ、既存ストック活性化プロジェクトなど3つの重点プロジェクト等について説明を行った。

※資料（別添のとおり）

■共創のまちぐらし推進プロジェクト「学びを創る」

・公立ほこだて未来大学 教授 岡本誠（函館市西部地区まちぐらし検討会議 座長）



岡本教授から、学びを創る（別添資料）を題材としたテーマに基づき、当該プロジェクトにおける共創視点における取り組み手法などについて、説明をいただいた。共創とは、多様な立場の人たちと対話しながら、新しい価値を「共」に「創」り上げていくこと。いかに地域の価値共創につなげるか。

※資料（別添のとおり）

■「空間」を「場所」に変えるまち育てー関係人口で「場所」が息づくー

・弘前大学 教授 北原啓司（函館市西部地区再整備事業アドバイザー）



講話では、北原教授から『「空間」を「場所」に変えるまち育てー関係人口で「場所」が息づく』（別添資料）についてご講話いただきました。なかでも「関係人口」について、その場所に自分が関わっている人・思える人についてのお話があり、「関係人口」こそがそこに住む人々の地域への愛着や誇りを喚起させること、関係できる喜びが地域のまち暮らしにつながることなど、今後の西部地区のまちづくり活動にも触れていただきながら説明していただきました。

※資料（別添のとおり）

■ワークショップ「共創のしくみを共創する」

- ・ファシリテーター 公立はこだて未来大学 教授 岡本誠
- ・アドバイザー 弘前大学 教授 北原啓司
- ・参加者 19名 (参加者リスト別添のとおり)

西部地区の今後のまち暮らしの実現に向けた姿を描くため、西部地区に関わる参加同士で直接自由に議論する参加型ワークショップ「共創のしくみを共創する」を開催。

ワークショップでは、「共創のしくみを共創する」のテーマで、どんな活動をつくるか、どんな場が必要か、どんな仕組みが必要かなど、参加者を3つのグループに分け、意見交換と議論を進め、各テーブルで議論した内容を発表した。

※資料 (別添 : 共創のまちぐらし推進プロジェクト・ワークショップ資料)

※資料 (別添 : ワークショップ結果詳細)



【Bグループ 議論等の様子】



【Cグループ 議論等の様子】



【Dグループ 議論等の様子】

